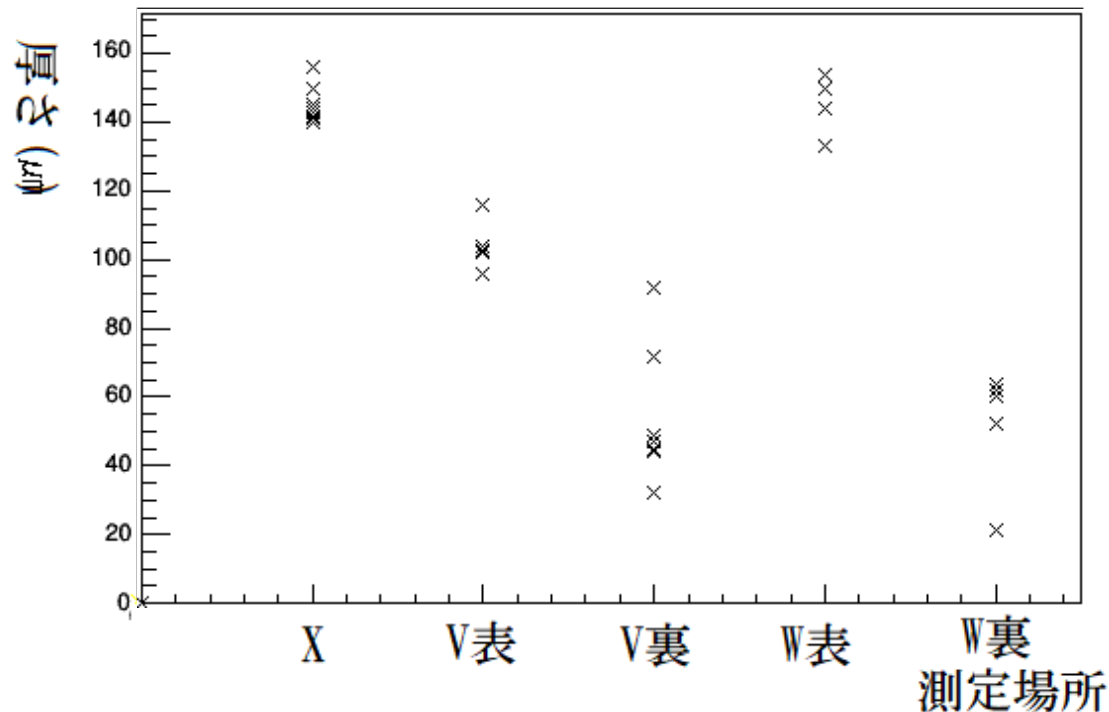


剥離試験片厚さ再測定

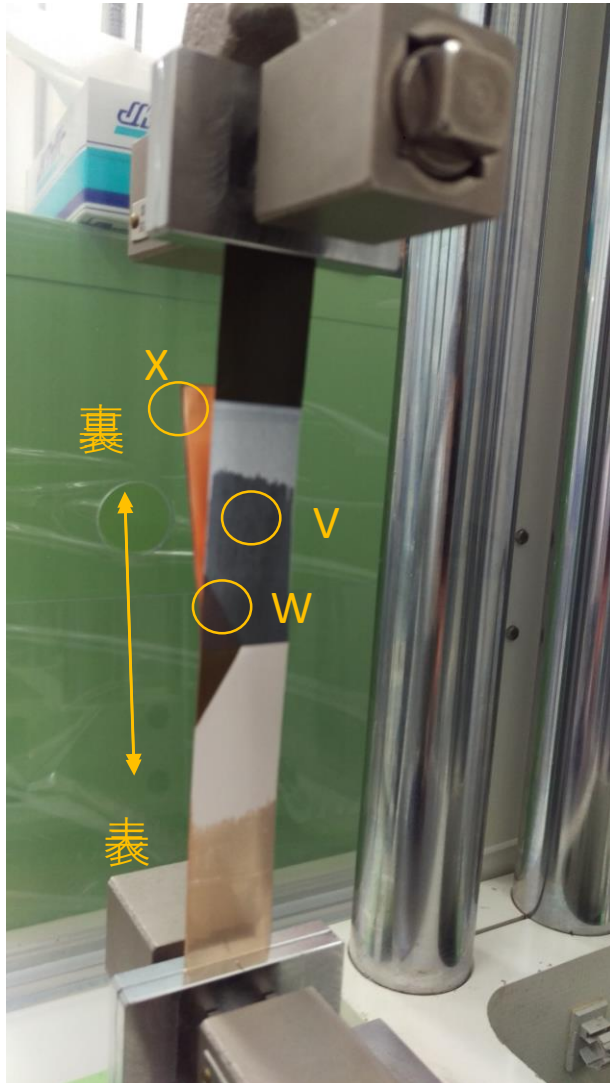
理研/鶴田雅人

実験の概要

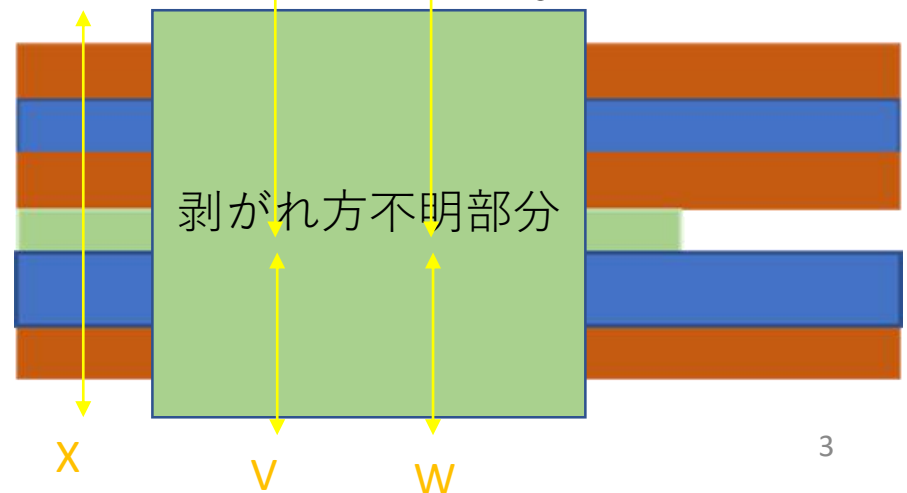
- 11月1日の試験片の厚さ測定の内試験片Cの厚さが大きくばらついており信頼性が低かった、また測定場所Wの全体の厚さが剥離前より増えていたために再測定を行った。



実験の概要②

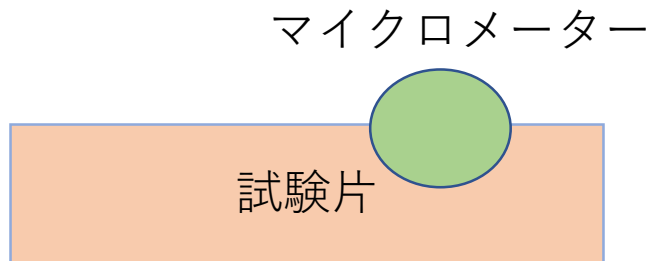


- 試験片Cについてのみ測定を行った。
- 下図のように黄色の円で囲われた部分と全体の厚さを計測した。

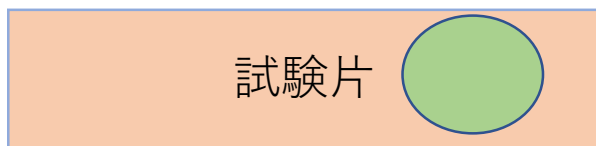


厚さの偏り

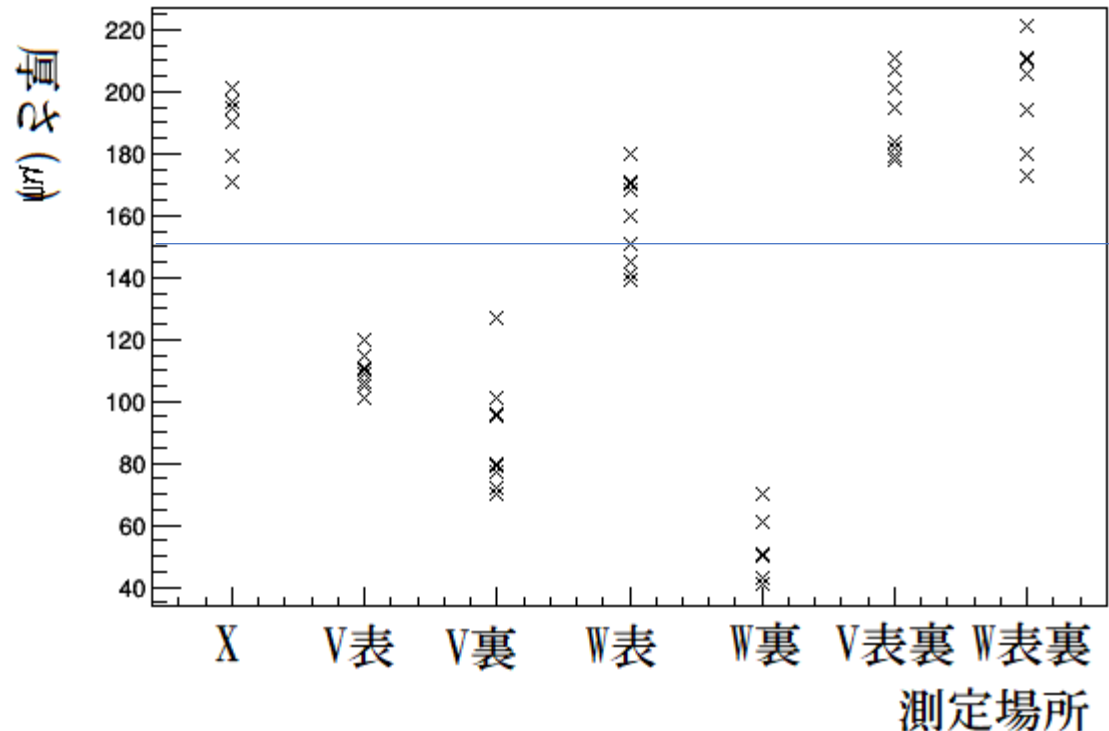
- 測定時に試験片の端を噛むように測定すると厚さが大きく出ることが分かった。
- 以下のグラフは端を噛むように測定したときの値である。
- 端の部分は捲れあがっているため厚いと考えられる。



厚さが変わってしまう測り方

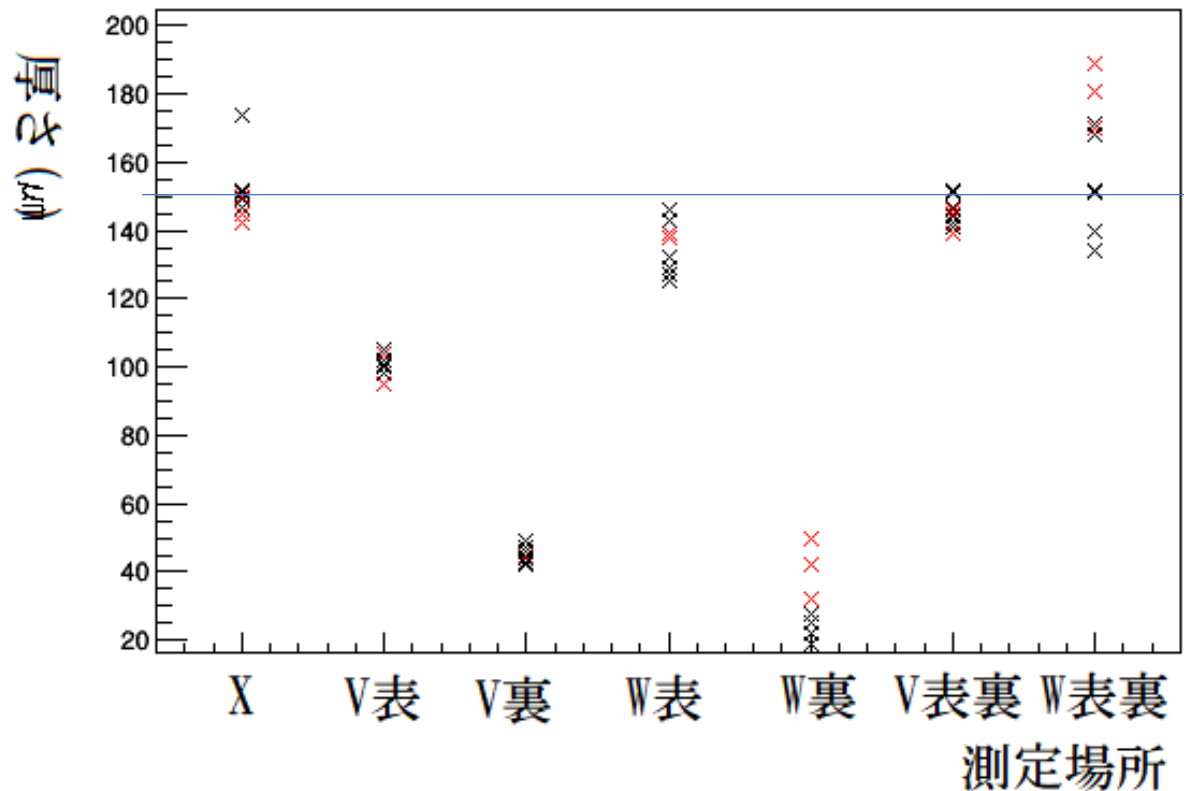


今回行う測り方



測定結果

- 測定時に試験片の端を噛まないように再測定を行った。
- 試験片C-3は皺が多く厚くなっていると思われる。



結果②

- 全体の厚さが下図のようであるからポリイミドはVで接着剤-ポリイミド間が、Wでポリイミド-銅間が剥がれたと推測出来る。
- いずれの試験片も素材の側が壊れていたことが確認できた。

	LCP	ポリイミド
LCP（ポリイミド）厚さ	100	25
銅厚さ	12	18
接着層厚さ	40	40
全体の厚さ	276	144

今後の方針

- LCP-銅間の剥離強度についてメーカーに問い合わせたところ保証値は4Nらしくこれで適正值
- 加速試験による接着剤の劣化のテストの目処がたった。